

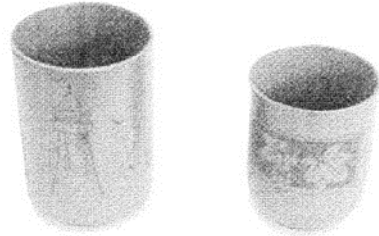
湯呑みの一刀彫り

—朱泥の湯呑みで
オリジナルの作品を！—

【所要時間 1.5～2時間】

トピックス

地域には、そこに住む人々の生活から生み出された文化があります。知多の特産、常滑焼の代表である朱泥の湯呑み（生地）に自分の思い出を切出し刀で彫り込みます。さあ、世界に一つしかない湯呑みを作ってみましょう。



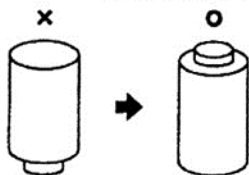
場所は

研修室7室（第1～3、6～9研修室）
<第4・5・10研修室はカーペット敷きのため使用できません。>
講堂・体育館

準備物品は

- 自然の家で準備できるもの
切出し刀 工作用トレー
一刀彫り湯呑み材料（要注文）
大（高さ 10cm×径 7cm）
小（高さ 8cm×径 6.5cm）
- 団地で準備するもの
図案用用紙 雑巾 新聞紙
鉛筆（2B）

作り方



※箱に作品を入れるとき、湯呑みはふせてください。

- ① 道具準備
 - ・食堂事務室で受け取り、実施場所へ運びます。
 - ・新聞紙・タオル・切出し刀（彫刻刀）を準備し、湯呑みを配布します。
- ② 図案を決める
 - ・言葉、柄、場所、製作年月日、名前（イニシャル）などを決めてください。
- ③ 2Bの鉛筆で下書き
 - ・作品には鉛筆の色はできませんが、強く書きすぎると跡が残ります。
 - ・同じ太さだけでなく、強弱を付けると良いでしょう。
- ④ 彫りを入れる
 - ・傷をつけないように、割らないように気をつけて！
 - ・柔らかい物（雑巾など）の上で彫ってください。
 - ・ぬれた手で触らないように！
 - ・なぜって太くしたり、深くしたりすると陰影がつきます。
- ⑤ 後片付け
 - ・彫った作品は箱に入れて、食堂事務室へ運んでください。
 - ・作品は約1週間で焼き上がります。自然の家、又は正峯陶苑（0569-88-5581）で受け取るか、着払い宅配便を利用するかを選択してください。